

# II グループ会社の環境経営

九州電力のグループ会社では、地球温暖化の防止や循環型社会の形成などを企業の社会的責任と認識し、九州電力グループ一体となって環境経営を推進するとともに、各社の事業特性に応じた環境活動に取り組んでいます。

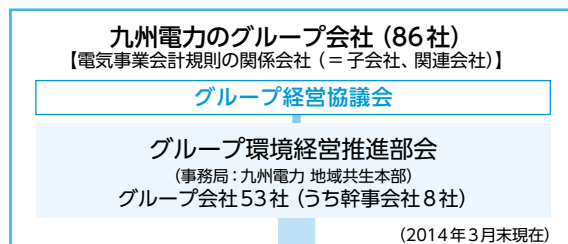
- ① 地球環境問題への取組み ..... 41
- ② 循環型社会形成への取組み ..... 43
- ③ 地域環境の保全 ..... 44
- ④ 社会との協調 ..... 44
- ⑤ 環境管理の推進 ..... 45

## グループ環境経営推進部会

「グループ経営協議会\*」の下部機関として「グループ環境経営推進部会」を設置し、環境活動の分析・評価・見直しにより、グループ会社一体となって環境経営を推進しています。

\*:九州電力の関係会社で構成され、グループ経営に関する諸課題の検討、協議を行う機関。

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > 九電グループ紹介



用語集を  
ご覧ください

- 環境経営
- 地球温暖化
- 循環型社会
- CSR (企業の社会的責任)
- 地球環境問題
- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 事業者別 (二酸化炭素) 排出係数

### エネルギー関連事業 (29社) 〔 ● 幹事会社 〕

#### 設備の建設・保守 (11社)

- 九州林産 (株)
- 九電産業 (株)
- (株) プラスワイヤー
- 西九州共同港湾 (株)
- (株) 九電ハイテック
- 西日本技術開発 (株)
- 西技測量設計 (株)
- (株) 九建
- 西日本プラント工業 (株)
- 西技工業 (株)
- (株) 九電工

#### 資機材等の調達 (7社)

- 九電テクノシステムズ (株)
- 九州高圧コンクリート工業 (株)
- (株) キューヘン
- 西日本電気鉄工 (株)
- 西日本空輸 (株)
- 光洋電器工業 (株)
- 誠新産業 (株)

#### 電気の卸供給/エネルギー事業 (11社)

- 戸畑共同火力 (株)
- 北九州エル・エヌ・ジー (株)
- 長島ウインドヒル (株)
- (株) 福岡グリーンエナジー
- 大分共同火力 (株)
- 西日本環境エネルギー (株)
- (株) 福岡エネルギーサービス
- 九州冷熱 (株)
- 大分エル・エヌ・ジー (株)
- (株) キューデン・エコソル\*
- みやざきバイオマスリサイクル (株)

### 情報通信事業 (5社)

- 九州通信ネットワーク (株)
- ニシム電子工業 (株)
- (株) コアラ
- (株) キューデンインフォコム
- 九電ビジネスソリューションズ (株)

### 環境・リサイクル事業 (2社)

- (株) ジェイ・リライツ
- 九州環境マネジメント (株)

### 生活サービス事業 (17社)

- (株) 電気ビル
- (株) キューデン・グッドライフ福岡浄水
- 九州高原開発 (株)
- 九州住宅保証 (株)
- (株) キューデン・グッドライフ
- (株) 九電ビジネスフロント
- (株) 九電ホームセキュリティ
- 伊都ゴルフ土地 (株)
- (株) キューデン・グッドライフ東福岡
- 九電不動産 (株)
- (株) 九電シェアードビジネス
- (株) キューデン・グッドライフ熊本
- (株) 九電オフィスパートナー
- (株) 九州字幕放送共同制作センター
- (株) キューデン・グッドライフ鹿児島
- 九州メンテナンス (株)
- (株) オークパートナーズ

\*:2014年7月に (株) キューデン・エコソルを母体として設立される新会社「九電みらいエナジー (株)」に社名を変更。

### 環境活動実績 (P40~P46) 集約の考え方

● 各環境活動実績は、集計対象のグループ会社のうち、実績の把握が可能なすべての会社 (下表) の集計値です。  
(九州電力は含まない)

#### 環境活動実績の集計対象

2011年度	グループ環境経営推進部会 全51社*1
2012年度	グループ環境経営推進部会 全53社*2
2013年度	グループ環境経営推進部会 全53社

- 四捨五入の関係上、合計値及び百分率が合わないことがあります。
- 購入電力に伴うCO<sub>2</sub>排出量は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、国から公表された「電気事業者別二酸化炭素排出係数」を用いて算出しています。


\*1:2012年1月、(株) キューキと九州計装エンジニアリング (株) が合併して、九電テクノシステムズ (株) を設立したため、2011年度実績は1社として集計。  
\*2:(株) 九電ハイテック、九州メンテナンス (株) を集計対象に追加。

# 事業活動と環境負荷の状況


下図は、グループ会社での資源や資材の投入から、事業活動を経てどのような環境負荷が発生しているかを表したものです。今後も、この現状を踏まえ、更なる環境負荷低減に努めていきます。

資源投入量	
・電力量*1	204.3 百万kWh
・燃料*2 (軽油、ガソリン、A重油など)	8.2 千kℓ
(LNG、LPGなど)	1.2 千トン
・水	4.5 百万トン
・熱 (蒸気など)	38.4 百万MJ
・コピー用紙	128.6 百万枚
・PRTR制度の指定化学物質取扱量	41.1 トン


**INPUT**




**エネルギー関連事業**



**情報通信事業**



**環境・リサイクル事業**



**生活サービス事業**

**環境活動**

- ・環境目標管理
- ・省エネ、省資源推進
- ・温室効果ガス排出抑制
- ・規制対象フロン排出抑制
- ・リサイクル推進
- ・グリーン調達推進
- ・大気汚染物質排出抑制
- ・環境教育の実施

**環境負荷低減量**

- ・温室効果ガス排出抑制量\*3 ..... 41.8 千トン-CO<sub>2</sub>
- ・産業廃棄物リサイクル率 (量) ..... 94 % (98.2千トン)
- ・SOx排出低減量\*5 ..... 5.9 千トン
- ・規制対象フロン回収実施率\*4 ..... 100 %
- ・古紙リサイクル率 (量) ..... 91 % (0.8千トン)
- ・NOx排出低減量\*6 ..... 2.1 千トン

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
 関連・詳細情報 (P2参照) > **温室効果ガス排出抑制量 (グループ会社)**

**OUTPUT**

環境負荷量	
・温室効果ガス排出量*2	267.8 千トン-CO <sub>2</sub>
・オゾン層破壊物質排出量*7	0.33 ODPトン
・SOx排出量	1.1 千トン
・NOx排出量	2.5 千トン
・PRTR制度の指定化学物質排出量 (大気)	20.4 トン
・産業廃棄物処分量	5.9 千トン
・古紙処分量	0.09 千トン

\*1: 発電所内電力量等を除く購入電力量を計上。 \*2: 電力会社等への販売電力量分 (発電用燃料及びその燃焼に伴う排出量) を除く。  
 \*3: 新エネルギー等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。  
 \*4: 点検時において法令基準レベル (撤去時における法定圧力) までガス回収を実施した機器の割合。  
 \*5: ばい煙発生施設 (ボイラー等) において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。  
 \*6: ばい煙発生施設 (ボイラー等) において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。 \*7: 各フロンのオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。  
 (注) 実績集約の考え方については、P39参照。

## 環境目標と実績

主要な環境活動について目標を定め、環境負荷の継続的な低減に努めています。

項目	単位	実績			2013年度環境目標	2014年度環境目標		
		2011年度	2012年度	2013年度				
地球環境問題への取組み	オフィス電力	使用量	百万kWh	25.9	24.0	25.5	—	—
		単位面積あたり使用量	kWh/m <sup>2</sup>	105.0	93.9	95.4	105程度	100程度
	自家物流送 (特殊車両等を除く)	低公害車導入比率*1	%	66	69	69	65以上	65以上
		燃料消費率 (燃費)	km/ℓ	10.9	11.2	11.0	11.0以上	11.0以上
	SF <sub>6</sub> (六フッ化硫黄) 回収率	機器点検時	%	実績なし*2	100	実績なし*2	98以上	98以上
		機器撤去時	%	100	99	100	99以上	99以上
	機器点検時の規制対象フロン回収実施率	%	100	100	100	100	100	
	用紙使用量*3	百万枚	123.8	123.5	128.6	事務用紙使用量の節約	事務用紙使用量の節約	
	上水	使用量	千トン	161.7	152.7	180.5	—	—
		一人あたりの使用量	m <sup>3</sup> /人	16	14	17	18以下	16以下
形成への取組み	リサイクル率	産業廃棄物	%	93	93	94	90以上	90以上
		石炭灰	%	100	100	100	100	100
		石炭灰以外	%	82	78	81	80以上	80以上
		古紙	%	92	89	91	93程度	93程度
グリーン調達率	%	86	86	88	80程度	80程度		
地域環境の保全	火力発電電力量あたりのSOx排出量	g/kWh	0.20	0.14	0.12	0.3程度	0.3程度	
	火力発電電力量あたりのNOx排出量	g/kWh	0.24	0.23	0.24	0.3程度	0.3程度	

\*1: 電気自動車 (プラグインハイブリッド車を含む)、ハイブリッド車及び低燃費車のグループ会社保有車両総台数に占める割合。  
 \*2: 設備は保有しているが、機器の点検の実績がないもの。  
 \*3: 用紙使用量はA4サイズ換算枚数。  
 (注) 実績集約の考え方については、P39参照。

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
 関連・詳細情報 (P2参照) > **オフィス電力・自家物流送 (グループ会社)**

用語集を  
 ご覧ください

- LNG (液化天然ガス)
- LPG (液化石油ガス)
- PRTR (制度)
- 指定化学物質
- 温室効果ガス
- 大気汚染
- 規制対象フロン
- グリーン調達
- 産業廃棄物
- リサイクル率
- SOx (硫黄酸化物)
- NOx (窒素酸化物)
- オゾン層破壊物質
- 所内電力 (量)
- 新エネルギー (新エネ)
- ばい煙
- 脱硫処理
- 低硫黄燃料
- 脱硝処理
- フロン
- オゾン層破壊係数
- CFC-11 (トリクロロフルオロメタン)
- 自家物流送
- 低公害車
- SF<sub>6</sub> (六フッ化硫黄)
- 上水
- 石炭灰
- プラグインハイブリッド車
- 低燃費車

## 温室効果ガスの排出抑制

オフィス電力使用量などのグループ環境目標を設定し、省エネ活動、省エネ機器の導入及びエコドライブ等をグループ一体となって推進しています。

2013年度は、電力使用量や工業用燃料の使用量は減少しましたが、原子力発電所の停止に伴い、火力発電所での発電が大幅に増加したことから、電力のCO<sub>2</sub>排出係数が高くなり、結果としてCO<sub>2</sub>の排出量が増加しました。また、設備の経年劣化によるHFCの増加などに伴い、CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガスの排出量も増加しました。

詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) >  
温室効果ガスの排出量の詳細実績 (グループ会社)

用語集を  
ご覧ください

- 地球環境問題
- 温室効果ガス
- エコドライブ
- HFC (ハイドロフルオロカーボン)
- CH<sub>4</sub> (メタン)
- N<sub>2</sub>O (一酸化二窒素)
- PFC (パーフルオロカーボン)
- SF<sub>6</sub> (六フッ化硫黄)
- 天然ガス
- LNG (液化天然ガス)
- LPG (液化石油ガス)
- 再生可能エネルギー

## 温室効果ガス排出量

単位: 千トン-CO<sub>2</sub>

	2011年度	2012年度	2013年度
CO <sub>2</sub> (二酸化炭素) *	113.9	134.8	152.5
CH <sub>4</sub> (メタン) *	0.5	0.1	0.1
N <sub>2</sub> O (一酸化二窒素) *	0.0	0.0	0.0
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	15.9	36.0	115.3
PFC (パーフルオロカーボン)	—	—	—
SF <sub>6</sub> (六フッ化硫黄)	—	0.0	0.0
合計	130.3	170.9	267.8

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。  
※: 電力会社等への販売電力量分 (発電用燃料の燃焼に伴う排出量) を除く。

## 各種エネルギー使用量

		単位	2011年度		2012年度		2013年度		
			会社数	使用量	会社数	使用量	会社数	使用量	
電力	オフィス	百万kWh	41	25.9	41	24.0	41	25.5	
	工場等	百万kWh	33	198.3	33	182.8	33	178.8	
燃料	車両等	ガソリン等	千kℓ	43	6.6	44	6.6	44	6.8
		天然ガス	千m <sup>3</sup>	1	0.1	—	—	—	—
	工業用*	冷暖房用	千kℓ	9	0.1	8	0.1	7	0.1
		A重油等	千kℓ	13	1.6	12	1.3	12	1.3
			LNG, LPG	千トン	7	1.4	7	1.3	7
熱	蒸気等	百万MJ	3	34.7	3	33.2	3	38.3	

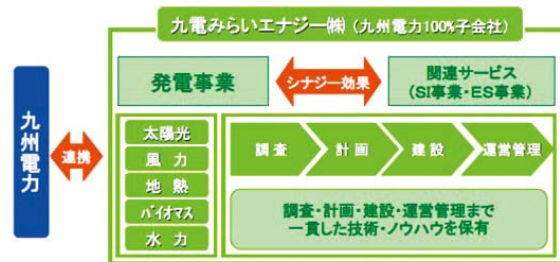
※: 電力会社等への販売電力量分 (発電用燃料) を除く。

## 「九電みらいエナジー株式会社」を設立します (株)キューデン・エコソル、西日本環境エネルギー(株)

九州電力グループは、従来より、再生可能エネルギーの積極的な開発、導入を推進しており、更なる開発推進を図るため、九州電力の再生可能エネルギー開発部門を含め、西日本環境エネルギー(株)(NEECO)及び(株)キューデン・エコソル(エコソル)の再生可能エネルギー事業を集約し、再生可能エネルギー電源全般の開発を行う「九電みらいエナジー株式会社」を2014年7月に設立します。

九電みらいエナジーは、九州電力と連携のもと、地域社会に対し、責任ある事業者として再生可能エネルギーの普及拡大に努めるとともに、関連するサービスもお客さまにご提供し、地域社会からの再生可能エネルギーへの幅広いニーズにワンストップで対応していきます。

また、これまで九州電力及びグループ会社が培ったノウハウや人材などの経営資源を活用し、九電グループ大における再生可能エネルギー開発の中核会社として、九州地域外への展開も視野に入れることなどにより、設立10年で70万kW(累計)の導入を目指して取り組んでいきます。



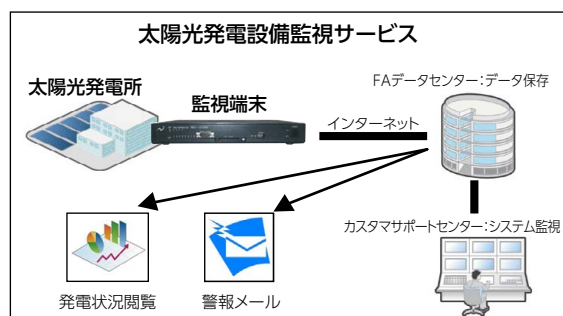
## 太陽光発電設備監視サービスがお悩みを解決します

ニシム電子工業(株)は、太陽光発電を導入されたお客さまからの設備監視やデータ管理に関するお悩みの声にお応えするため、「太陽光発電設備監視サービス」をご提供しています。

このサービスでは、ニシム電子工業の持つネットワークや設備の監視制御のノウハウを活かして、発電所での発電量や日射量など関連データの収集・管理、発電所の遠隔での監視や管理、収集したデータの長期保存等を行います。

今後これまで培ってきた監視・制御技術やネットワークの技術力を活用し、再生可能エネルギーの普及に貢献していきます。

## ニシム電子工業(株)



再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めています **グループ会社21社**

国産エネルギーの有効活用の観点から、また、地球温暖化対策面で優れた電源であることから、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めています。

グループ各社のうち15社が太陽光・風力・バイオマス発電などの再生可能エネルギーの設備を導入しており、再生可能エネルギー設備の工事施工や設計業務に関わるグループ会社を含めると、21社が設備導入や開発に携わっています。

〔設備導入状況〕

項目	会社数	総設備容量[kW]
太陽光発電	10	38,846
風力発電	3	64,390
バイオマス発電	1	11,350
廃棄物発電	1	29,200
合計	15	143,786

〔設備導入・開発に取り組む会社（青文字は設備導入会社）〕

太陽光発電（14社）<sup>\*1</sup>

- 西日本プラント工業（株）
  - 宗像アスティ太陽光発電（株）
- 西技工業（株）
  - （株）九電工
  - 九電テクノシステムズ（株）
  - 光洋電器工業（株）<sup>\*2</sup>
  - （株）キューベン<sup>\*2</sup>
- 誠新産業（株）
- 西日本環境エネルギー（株）<sup>\*3</sup>
  - （株）キューデン・エコノル<sup>\*3</sup>
  - ニシム電子工業（株）<sup>\*2</sup>
- （株）電気ビル
- （株）キューデン・グッドライフ東福岡
- 九電不動産（株）<sup>\*2</sup>

風力発電（7社）<sup>\*1</sup>

- 西日本プラント工業（株）
  - 鷲尾岳風力発電（株）
  - 奄美大島風力発電（株）
- 西日本技術開発（株）
  - （株）九電工
  - 長島ウィンドヒル（株）
- 串間ウィンドヒル（株）

バイオマス発電（2社）<sup>\*1</sup>

- 西日本環境エネルギー（株）<sup>\*3</sup>
  - みやざきバイオマスリサイクル（株）

廃棄物発電（1社）

- （株）福岡グリーンエナジー

水力発電（2社）

- 西日本技術開発（株）
- 西技工業（株）

地熱発電（1社）

- 西日本環境エネルギー（株）<sup>\*3</sup>

※1：グループ会社の子会社を含む。

※2：九州電力の研究設備として設置。

※3：2014年7月以降は、（株）キューデン・エコノルを母体として設立する九電みらいエナジー（株）で事業実施。

福岡県宗像市で「アスティソーラー発電所」が営業運転を開始しました **西日本プラント工業（株）**

西日本プラント工業（株）は、2013年7月に、福岡県宗像市内の社有地において「アスティソーラー発電所」（出力1,980kW）の営業運転を開始しており、この発電所の運転による2013年度のCO<sub>2</sub>排出抑制量は約880トン<sup>\*</sup>に相当します。

この事業は、西日本プラント工業（株）の100%子会社・宗像アスティ太陽光発電（株）が運営しており、発電所構内には、市民の皆さまの環境教育施設としても活用できるよう、発電出力をリアルタイムに表示した説明パネルを設けています。

西日本プラント工業（株）が取り組む再生可能エネルギーを活用した発電事業としては、奄美大島風力発電（奄美市、出力1,990kW、2009年12月運転開始）、鷲尾岳風力発電（佐世保市、12,000kW、2011年12月運転開始）に次いで3番目となります。

今後とも、再生可能エネルギーの活用により地球温暖化防止に貢献するとともに、地域の皆さまと一体となって持続可能な社会の実現に少しでもお役に立てるよう努めていきたいと考えています。

※：2012年度の販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量（CO<sub>2</sub>排出クレジット等反映後）を使用して試算。



アスティソーラー発電所（福岡県宗像市）

アスティソーラー発電所	
所在地	福岡県宗像市
敷地面積	約3万㎡
出力	1,980kW
運転開始時期	2013年7月



オゾン層の保護

オゾン層を破壊するフロン類の回収を徹底するため、グループ環境目標を設定し、フロン類の排出抑制にグループ一体となって取り組んでいます。

2013年度は、HCFCやハロンを使用しない設備への更新により、HCFC等の保有量は減少しました。

オゾン層破壊物質保有量等

単位：トン

		2011年度		2012年度		2013年度	
		会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
CFC	保有量	4	17.5	4	16.7	4	16.4
	排出量		—		0.7		0.3
HCFC	保有量	25	53.1	23	52.4	23	50.6
	排出量		—		0.0		0.6
ハロン	保有量	6	9.4	6	7.0	6	6.9
	排出量		—		—		—

単位：ODPトン

オゾン層破壊物質排出量 <sup>*</sup>	2011年度	2012年度	2013年度
	0.0	0.7	0.3

※：各フロン類のオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。

用語集を  
ご覧ください

- 地球温暖化
- バイオマス
- 持続可能な社会
- CO<sub>2</sub>排出クレジット
- オゾン層
- フロン
- HCFC  
(ハイドロクロロフルオロカーボン)
- ハロン
- オゾン層破壊物質
- CFC  
(クロロフルオロカーボン)
- オゾン層破壊係数
- CFC-11  
(トリクロロフルオロメタン)

## 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

廃棄物のリサイクル率についてグループ環境目標を設定し、リサイクル率の維持・向上をグループ一体となって推進しています。

また、事務用品等の購入の際は、環境負荷の少ない物品を優先して調達するグリーン調達に努めています。

### 廃棄物の発生状況

		単位	2011年度		2012年度		2013年度	
			会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
産業廃棄物	発生量	千トン	37	112.6	39	102.1	38	104.1
	リサイクル率	%		93		93		94
古紙	発生量	千トン	47	0.8	48	0.9	48	0.9
	リサイクル率	%		92		89		91

詳細は九州電力ホームページ

WEB 関連・詳細情報 (P2参照) >

産業廃棄物の種類ごとの発生量及びリサイクル量の実績 (グループ会社)

用語集を  
ご覧ください

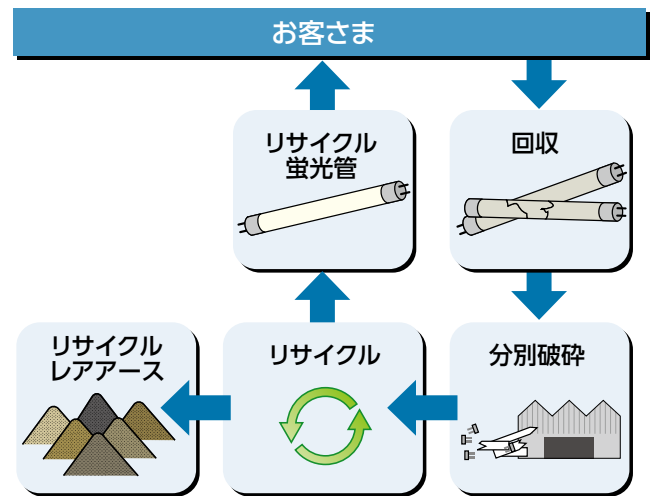
- 循環型社会
- ゼロエミッション
- リサイクル率
- グリーン調達
- 産業廃棄物
- レアアース
- グリーン製品

(株) ジェイ・リライツは、回収した使用済蛍光管を可能な限り元の原料 (ガラス・蛍光体・金属・水銀) に戻すリサイクル事業や、再生蛍光体・ガラスを使用したリサイクル蛍光管の製造・販売、使用済乾電池リサイクル事業に取り組んでいます。

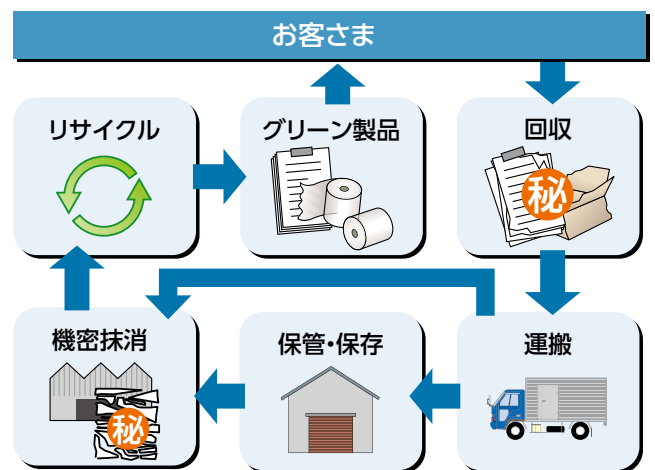
2012年3月からは、福岡県、福岡県リサイクル総合研究事業化センター、日本イットリウム(株) 等との共同プロジェクトにより、全国で初めて、使用済蛍光管に含まれるレアアースのリサイクル事業に取り組み、2013年度までに9.3トンの蛍光粉 (レアアース) を販売しました。

九州環境マネジメント (株) は、シュレッダー・焼却処分されていた機密文書の機密抹消・リサイクル事業や、再生コピー用紙・トイレトペーパーなどのグリーン製品の製造・販売、文書類の保管事業を行っています。

2013年度は、九州電力及びグループ会社の文書を1,057トンリサイクルしました。これは、紙の原料として、樹齢50年の立木 (直径14cm、高さ8m) の21,140本分に相当します。



使用済蛍光管リサイクル事業のイメージ図



機密文書リサイクル事業のイメージ図

コンクリートスラッジを有効活用しています

九州高圧コンクリート株式会社は、これまで産業廃棄物として処理していたコンクリートスラッジ（コンクリート製品の製造工程で出るセメント汚泥）を、ボイラーの排ガスで炭酸化処理し敷床材に混ぜることで、乾燥・除菌・脱臭の機能を付加した環境衛生資材「牛舎の敷床材 床カラッと」として商品化しました（2014年10月からの販売を予定）。

当社は、この事業を通じて、資源の有効活用、炭酸化処理過程でのCO<sub>2</sub>排出量の削減や、牛舎の環境改善等に大きく貢献できると考えています。

九州高圧コンクリート株式会社



「床カラッと」の使用イメージ

おが屑3：床カラッと1

3 地域環境の保全

環境保全の推進

グループ各社で取り扱う法規制物質等は、関係法令に基づき適正な運用・管理に努めています。PRTR制度における指定化学物質の取扱量等の多くは、機器塗装で使用する塗料に含有しているキシレンやトルエンであり、この排出量等は業務の受注量等により変動が生じます。

また、PCB廃棄物は、2013年度は241台の無害化処理を行い、2014年3月末現在の保有量は、74台となっています。保管中のPCB廃棄物は、廃棄物処理法などに基づき厳重に保管・管理を行っています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
 関連・詳細情報 (P2参照) >  
 PRTR制度の指定化学物質の物質ごとの取扱量等実績・  
 発電設備のSOx、NOxの排出量等の実績 (グループ会社)

PRTR制度における指定化学物質の取扱量等 単位:トン

	2011年度		2012年度		2013年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
取扱量		154.0		93.5		41.1
排出量(大気)	6	36.8	6	20.5	6	20.4
移動量		93.5		70.1		101.2

(注)PRTR制度の指定化学物質で届出が必要なデータを計上。

PCB廃棄物の保有状況等 (2013年度) 単位:台

	処理状況		保有状況	
	会社数	処理量	会社数	保有量
トランス	—	—	1	1
コンデンサ	3	6	—	—
安定器	2	235	2	45
合計	5	241	3	46

大気汚染物質の排出量 単位:千トン

	2011年度		2012年度		2013年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
SOx排出量		1.9		1.4		1.1
NOx排出量	4	2.4	4	2.4	4	2.5

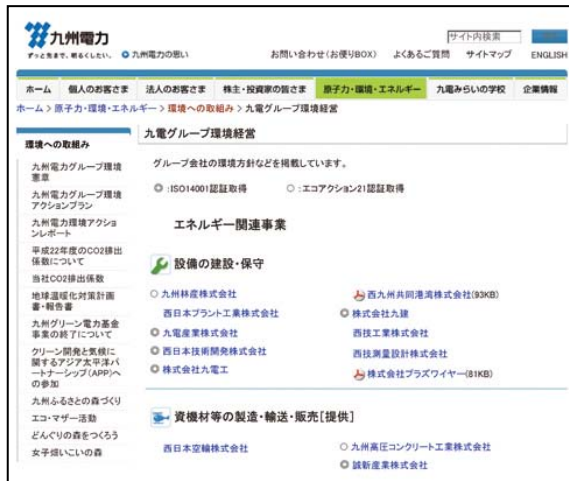
(注)ばい煙量の法的測定義務により、SOx・NOx排出量を把握している会社のデータを計上。

4 社会との協調

環境コミュニケーションの推進

グループ会社での環境活動情報については、本レポートをはじめ、九州電力ホームページにおいても公開しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
 関連・詳細情報 (P2参照) > 九電グループ環境経営



九州電力ホームページ  
 (環境への取組み (九電グループ環境経営))

用語集を  
 ご覧ください

- 汚泥
- PRTR (制度)
- 指定化学物質
- キシレン
- トルエン
- PCB (ポリ塩化ビフェニル)
- 大気汚染
- SOx (硫酸化合物)
- NOx (窒素化合物)
- ばい煙
- 環境コミュニケーション
- 環境経営

## 地域における環境活動の推進

「九州ふるさとの森づくり」への参加や各社独自の地域清掃活動など、地域における環境活動に積極的に取り組んでいます。

2013年度は、これらの環境活動が認められ、(株)ジェイ・リライツに、北九州市から、道路美化活動に対する感謝状が授与されました。

### 「小規模集落応援隊」に参加しています

#### 九州林産(株)

九州林産(株)では、地域貢献活動の一環として、2013年度は、計29回の清掃活動に延べ85名の社員が参加しました。

高齢化率が高い大分県由布市奥江地区においては、官民一体となって取り組む「小規模集落応援隊」の一員として、農業には欠かせない用水路の浚渫作業を継続的に行っており、この活動を通じて、奥江地区の皆さまとの交流が深まればと考えています。



用水路浚渫作業の様子

### 天神地区の清掃活動を行っています

#### 九州通信ネットワーク(株)

天神地区の“魅力あるまちづくり”に取り組む「We Love天神協議会」とコラボレーションのもと天神地区の清掃活動を行っています。

清掃当日は、本社のある天神地区周辺の公園、道路のゴミ拾いを行い、天神地区の美化活動に努めました。参加者からは『働く街がきれいになると、嬉しい気持ちになる。』『また、参加したい。』『清掃する回数を増やしてほしい。』など、意欲的な意見が聞かれました。

今後も、このような環境ボランティア活動に積極的に取り組んでいきます。



天神地区清掃活動の様子

## 5

## 環境管理の推進

用語集を  
ご覧ください

- 環境マネジメントシステム (EMS)
- ISO14001
- ISO14001準拠
- エコアクション21
- ISO簡易システム
- 環境保全協定

### 環境マネジメントシステム (EMS) の自立運用

グループ会社は、構築レベルを6段階に分類した九州電力のグループ会社独自の統一的な基準(「九電グループにおけるEMS構築基準」)に基づき、各社事業特性に応じたEMSを構築し、環境負荷を適切に管理する取組みを推進しています。

#### EMS構築状況(2014年3月末現在)

EMS構築レベル		会社数
第6段階	ISO14001認証取得 (全事業所で認証を取得している会社)	2
第5段階	ISO14001認証取得 (一部の事業所で認証を取得している会社)	5
第4段階	ISO14001準拠	7
	エコアクション21(EA21)認証取得	7
第3段階	ISO簡易システム	7
第2段階	文書による体制、目標管理、 遵守評価の実施	18

(注) 第1段階(環境管理体制の整備、環境方針の策定、環境目標の策定): 5社。  
第1段階のEMSを構築中: 2社。

### 環境に関する 法規制遵守の状況

グループ会社において、設備から排出するばいじん濃度が、地元自治体が発行した立ち入り測定で、公害防止に関する協定書の規定に基づく協定値を超過したため、該当設備の改善若しくはその使用方法の見直しを行うよう警告を受けました。これに対しては、原因及び改善対策※を、速やかに地元自治体に報告しました。今後は、このようなことがないよう、地元自治体と締結している環境保全協定等の厳正な遵守に努めていきます。

※警告後の測定値や過去5年間の定期測定値が、全て管理値内となっていることから、設備内堆積物の一時的な飛散が原因と推定。このため、次回の停止作業時に設備内の点検清掃を行うことやそれまでの期間は監視強化を図ることを改善対策として報告。

# 環境会計

「九電グループにおける環境会計基準」に基づき、各社で算定した環境活動コストを集約しています。

単位：百万円

環境活動の分類	主な活動	2012年度		2013年度		2013年度環境活動	
		投資	費用	投資	費用	項目	効果
地球環境保全	地球温暖化防止及びオゾン層保護対策等	59.1	1,245.9	20.2	1,382.1	温室効果ガス排出抑制量*1	41.8千トン-CO <sub>2</sub>
地域環境保全	大気汚染・水質汚濁・騒音・振動防止対策等	260.4	1,159.4	280.9	765.0	SOx排出低減量*2 NOx排出低減量*3	5.9千トン 2.1千トン
資源循環	産業廃棄物・一般廃棄物の適正処理等	109.4	1,131.0	16.3	1,112.8	法令、条例に基づき適正に管理 産業廃棄物リサイクル量 産業廃棄物適正処分量 古紙リサイクル量 一般廃棄物の適正処理	98.2千トン 5.9千トン 0.8千トン
グリーン調達	グリーン調達で発生した差額コスト	—	8.2	—	21.3	—	—
環境活動の管理	環境教育、EMS運用管理、環境負荷監視・測定、構内緑化等	34.8	246.8	—	148.3	環境講演会 出前講演会 外部認証取得会社(SO14001、エコアクション21) EMSの第2～4段階への取組会社*4 環境関連データベース項目数	3社 65人参加 14社 32社 858項目
環境関連研究	廃棄物有効利用等	0.0	1.6	4.0	3.4	—	—
社会活動	地域の環境活動支援等	0.0	3.4	—	75.9	「九州ふるさとの森づくり」植樹活動 地域清掃活動	30社延べ590人参加 32社実施
環境損傷対応	公害健康被害補償制度による汚染負荷量賦課金	—	167.1	—	163.1	—	—
合計	—	463.7	3,963.4	321.4	3,671.9	—	—

※1：新エネルギー等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。  
 ※2：ばい煙発生施設（ボイラー等）において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。  
 ※3：ばい煙発生施設（ボイラー等）において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。  
 ※4：エコアクション21 認証取得会社を除く。

用語集を  
ご覧ください

- 環境会計
- 環境活動コスト
- 地球温暖化
- オゾン層
- 温室効果ガス
- 大気汚染
- 水質汚濁
- SOx (硫黄酸化物)
- NOx (窒素酸化物)
- 資源循環
- 産業廃棄物
- 一般廃棄物
- グリーン調達
- 公害健康被害補償制度
- 汚染負荷量賦課金
- 新エネルギー（新エネ）
- ばい煙
- 脱硫処理
- 低硫黄燃料
- 脱硝処理

## 環境教育・環境情報共有化

グループ会社の集合講演会及び各社ごとの環境講演会の実施により、グループ会社社員の環境意識高揚を図っています。

また、インターネットを活用した「九電グループ情報ネットワーク」に環境関連法規制等の情報を掲載し、グループ会社の環境情報共有化を図っています。

### 環境講演会（2013年度）

項目	対象会社	内容	人数
九州電力社員による出前講演会	九電テクノシステムズ(株)	環境問題の現状と九州電力グループでの環境経営の取組みについて	136名
	西日本プラント工業(株)		58名
	九州メンテナンス(株)		39名

## 社外からの表彰・感謝状

表彰名	対象	実施団体	
平成25年度エコアクション21 環境活動レポート大賞・九州	大賞	光洋電器工業(株)	NPO法人九州環境カウンセラー協会、 九州・沖縄ブロックエコアクション21地域事務局
	九州環境カウンセラー 協会特別賞	九州林産(株)	
	廃棄物部門賞	九州高圧コンクリート工業(株)	
平成24年度後期宮崎海岸 広域・モニタリング環境調査業務	国土交通省九州地方整備局 国土交通行政功労表彰 局長表彰	西日本技術開発(株)	国土交通省九州地方整備局
北九州市道路美化活動に関する感謝状	(株)ジェイ・リライツ	北九州市	
こが 古賀市森づくり活動に関する感謝状	西日本プラント工業(株)	古賀市	
	西技工業(株)		
	(株)キューヘン		
	ニシム電子工業(株)		
	(株)九電シェアードビジネス		